

## II-3 注意欠如多動症 (ICD-11) 注意欠如・多動症 (DSM-5)

(ADHD : Attention-deficit hyperactivity disorder)

### 1 : 注意欠如多動症(ICD-11)の概念

#### (1)定義

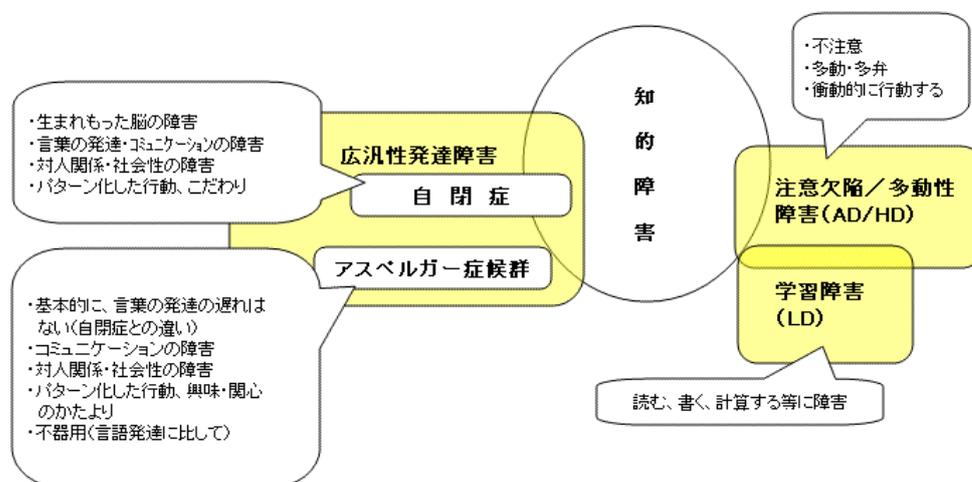
多動性(過活動)や衝動性、または不注意を症状の特徴とする神経発達症もしくは行動障害。

#### (2)特徴

- ①持続する不注意
- ②多動性
- ③衝動性

発症=12歳までに発症

#### (3)発達障害の位置づけ



### 2 : 分類 (サブタイプ)

#### (1)混合型

DSM-5 では、不注意と多動性/衝動性のいずれかの存在を診断要件にしている。

ICD-10 では多動性/衝動性の存在を診断要件としている。

#### (2)不注意優先型

女子に多い。成人後も症状が残存しやすい。

#### (3)多動/衝動性優先型

男子に多い。成長にしたがって改善されることも多い。

### 3 : ADHD の原因

遺伝要因と環境要因に分けることができる。

#### (1) 遺伝要因

抑制や自制に関する脳の神経回路が発達の段階で損なわれているという点までは確からしい。しかしその特定の部位・機能が損なわれる機序は仮説の域を出ない。

## (2) 後天的要因

1,500 g 以下の低体重出生。  
在胎児の母親の喫煙。

## 4 : ADHD の疫学

### (1)小児

発症頻度 5%程度

男女比 2 : 1 で、男子が多い。  
女子では不注意を示す者の割合が高いとしている。

### (2)成人

発症頻度 5%で

男女比 1.6 : 1 男子が多い。

## 5 : ADHD の臨床的特徴

### (1)症状

**衝動性 (impulsive) ・ 過活動 (hyperactive) ・ 不注意 (inattentive)** などの症状が確認される。

**不注意 (inattention)** 簡単に気をそらされる、ケアレスミスする、物事を忘れる。  
ひとつの作業に集中し続けるのが難しい。  
その作業が楽しくないと、数分後にはすぐに退屈になる。

**過活動 (hyperactive)** じっと座っていることができない。  
絶え間なく喋り続ける。  
黙ってじっとし続けられない。  
目的なく喋りつづける。  
他の人を遮って喋る。  
自分の話す順番を待つことが出来ない。

**衝動性 (impulsive)** 質問が終わる前に答え始める  
順番を待てない  
他人を妨害し、邪魔する (抑制機能の欠如)

ストレスがかかる場面で症状が現れることも多い。

## 6 : ADHD の診断

### (1) 診断基準 (DSM-4)

下記すべてが満たされたときに診断される。

#### ① 不注意と多動-衝動性 :

不注意=活動に集中できない、気が散りやすい、物をなくしやすい、順序だてて活動に取り組めないなど。  
多動-衝動性=ジッとしていられない、静かに遊べない、待つことが苦手で、他人の邪魔をしてしまう等。  
上記が同程度の年齢の発達水準に比べてより頻繁に、強く認められること。

②症状のいくつかが**12歳以前**より認められること。

③2つ以上の状況において（家庭、学校など）障害となっていること。

④発達に応じた対人関係や学業的・職業的な機能が著しく障害されていること。

⑤広汎性発達障害や統合失調症など他の発達障害・精神障害による不注意・多動-衝動性ではないこと。

## 7：ADHD の対応と治療

### (1)対応方法

#### ①心理療法

心理教育、ペアレント・トレーニング、認知行動療法など。

#### ②社会的方法

##### 1) 環境変容法

注意をそらす物を周りに置かない。

##### 2) 家庭での配慮

家庭では、勉強をしているとき外的刺激を減らしたり  
子供の注意がそれてしまった時に適切な導きを与えてやる。  
頃合いを見計らって課題を与える。  
褒めることを中心にして親子関係を強化するなどが挙げられる。

例：「勉強しなさい」と言うよりも机の上にその子供の注意を引きそうな本をさりげなく置いておく。

新聞や科学雑誌を購読する等である。

##### 3) 文化的配慮

### (2)薬物療法

薬物療法は対症療法であり根治を目指すものではない。

特に子供の場合は6歳以上で心理行動療法に効果がなかった場合に慎重に使うとされる。

神経刺激薬 MPH（メチルフェニデート）

## 8：ADHD と歯科医療

### (1)ADHD の口腔内所見

う蝕が多い、または差がないという報告がある。

歯肉炎が多い。

歯牙外傷が多い。

[Increased dental trauma in children with attention deficit hyperactivity disorder treated with methylphenidate--a pilot study.](#)

Katz-Sagi H, Redlich M, Brinsky-Rapoport T, Matot I, Ram D.

J Clin Pediatr Dent. 2010 Summer;34(4):287-9.

[Traumatic dental injuries in children with attention deficit/hyperactivity disorder.](#)

Avsar A, Akbaş S, Ataibış T.

Dent Traumatol. 2009 Oct;25(5):484-9. Epub 2009 Jun 1.

## (2)ADHD の歯科的問題点

患者の診療に対する回避行動や妨害行為がみられる。

## (3)ADHD の行動調整法

歯科治療の目的と効果を**視覚的**に説明する。

オペラント条件づけを応用した行動療法。

技法	具体的方法
正の強化	子どもの好ましい行動に応じて報酬を供給する。
タイムアウト	望ましくない行動・問題行動を起こし際に活動していた場所から移動させ、一定の時間、通常の活動や正の強化から距離をおく。
レスポンスコスト	望ましくない行動・問題行動を起こした際に報酬を与えない。
トークエコノミー	正の強化とレスポンスコストを組み合わせ、行動に応じて報酬を与えたり中止する。

これより前の診断名や定義は参考程度になります。

障害者歯科学会は DSM-5 までです。

日本では、〇〇障害は避けるようにされています。

〇〇症のようです。

- ・ DSM-5 2014 年
- ・ ICD-11 2018 年